

平成31年3月8日

日光市議会議長 斎藤伸幸様

日光市議会議員 田村耕作

議員派遣報告書

目的 (会議等の名称)	全国市議会議長会研究フォーラム
会議等の 主催者の名称	全国市議会議長会
場 所	名称等：宇都宮市文化会館 住 所：宇都宮市明保野町7-66
期 間	平成30年11月14日(水)～平成30年11月15日(木)
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の 所感・成果等	<p>「議会と住民の関係」をテーマに2日間にわたり、宇都宮市において開催された全国市議会議長会フォーラムに参加した。その内容は、テーマをもとに様々な講演やパネルディスカッションが主なものであった。</p> <p>パネルディスカッションでは、著名な方々が、それぞれの持論を展開する中で、合併による大規模化で、市民ニーズをくみ取りにくくなっている状況を指摘する意見が多く聞かれた。また、国からの権限移譲などで行政が肥大化し、政治上の非決定が進行する中、「議員は難しい立ち位置</p>

にある」との見方もあった。さらに、女性議員が少ない地方議会の現状を取り上げ、「議会が多様な民意を組み上げる組織になっていないのではないか？」との指摘もあった。

2日目は、全国の先進的な事例を推進している議長らが、様々な事例を力説していた。特筆すべきものは見当たらなかったが、それぞれに地域にあった特色ある取り組みを聞き、少なからず参考にはなったものの、我々議会に当てはまるような事例は散見されなかった。

コーディネーターを務めた山梨学院大学の江藤俊昭氏は、フォーラム全体を振り返って、「議会と住民の関係を強化するには、議会の魅力を高めることが必要だ。」として、政策立案やチェック機能に加え、情報発信の重要性を訴えていた。

先に述べた様々な指摘や提案があった中で、我々日光市議会にとって何が必要で何を目指した議会にしていくのかをしっかりと見据え議会を創っていくことが肝要であり、その目標に向かって議員が共通の認識を持ち実践していくべきであると再認識した。そして江藤氏の言う、議会の魅力を高め発信していきながら、説明責任をしっかりと果たし、情報の共有化を図ることで、住民に身近で開かれた議会の創設に繋げていくべきと強く感じた実りある研修であった。